

ぴっころ

～子育て支援センターには楽しいことがいっぱい～



揖斐川子育て支援センター

揖斐川町上南方 193 TEL 23-1136
開館日 月曜日～金曜日・第3土曜日
9:00～16:00

※揖斐川子育て支援センターは、子育て中のお父さん・お母さん・妊婦さん、おじいさん・おばあさん、子育てが一段落した先輩ママさん地域の方など、どなたでも来ていただける場所です。気軽にお出かけください。

※行事など詳細は毎月発行しているピッコロだより、支援センターホームページで確認していただけます。

◇ホームページ

揖斐川町 <http://www.town.ibigawa.gifu.jp/>
揖斐幼稚園 <http://www.ibi-youchien.ed.jp/>

◎町内幼稚園のなかよしタイム(園庭開放)
11月11日(水)・25日(水)

詳しくは各幼稚園にお問い合わせください

◎揖斐幼稚園 開放日 11月18日(水)
♪幼稚園へ申込みください。
(当日可) TEL 22-6008

【11月の活動予定】

日	月	火	水	木	金	土
1	2 育児相談	3 文化の日	4 ♥教えてドクター 14:00～15:00 【小児科医 後藤先生 を迎え気になる症状に ついてお話が聞けます】	5 ♪音楽のひろば ハーモニー 【音楽に親みましょう】	6	7
8	9 育児相談	10	11 ★出前保育 大和公民館 【簡単な玩具を親子 で作しましょう】	12 ♪ダンスでGo! 【軽快な曲に合わせて 体を動かしましょう】	13	14
15	16 育児相談	17	18 ♥お話ルーム ♥誕生会 (11月生まれ児)	19	20	21 第3土曜日開館日
22	23 勤労感謝の日	24 ♪子育てと仕事を両 立させたい方の ためのハローワーク (電話予約可)	25 ★出前保育 北方公民館 【簡単な玩具を親子 で作しましょう】	26	27	28
29	30 育児相談	※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、講座・公民館出前保育など中止する場合がありますので、支援センターホームページ・電話でお問い合わせください。				

・行事の申込みは、前月の第3水曜日より実施日まで、揖斐川子育て支援センターで受け付けています。(電話予約不可)

♥♪は要申込み ♪は人数制限があります。★はどなたでも参加できます。

・荒天で行事を中止する場合があります。支援センターまでお問い合わせください。

★子育て支援センターは、子ども(0～18歳未満)のあらゆる相談窓口です。

*一人で悩んでいないで気軽にご相談ください。

子育てQ&A

偏食について



2歳2ヶ月の男児 偏食でごはんや魚はいくらでも食べますが、野菜を全く食べません。何かに混ぜても、嫌いなものに気づくと吐き出します。発育は順調ですが、今後どのようにしていくべきか不安になります。



嫌いなものを何かに混ぜるとごまかされて食べるようにもなりますが、気がつくとそれを出してしまうのは、「わがまま」というよりも、「敏感な子」と思うと少し楽かもしれません。

野菜に興味を持たせるように、食事のお手伝いでレタスをちぎったりタマネギの皮をむいたりなど一緒に楽しみながらお手伝いをさせてみましょう。子どもにとっては遊びの延長になり、興味を示すかもしれません。

—子育て相談より抜粋—

揖斐川町は、住民の皆さんの子育てを応援しています。

親子で収穫体験 ～土の中ではどうなっているの？～

キュウリ・なす・トマト・枝豆などは、大きさ色づきなど畑で育つ様子をじっくり見るすることができます。では、落花生は土の中でどうなっているのでしょうか。

「これ、何だと思いませんか？」葉っぱを見ても想像ができなかったので、みんなの前で引き抜いてみました。「これなに？」「これが落花生なの？」「枝豆のようになるものかと思った。」「土の中にたくさんできてる。」「これ、どうやって食べるの？」と落花生を手にしながらかれこれ会話がはずんでいました。

大人も子どももワクワク！ドキドキ！みんなで“知る”楽しさを味わっています。



いきいき園キッズ！

●「おいしいー」

くぐぜ幼児園

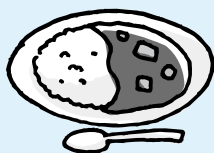
園で育てた野菜でカレー作りをしました。

「おくら、チクチクするね」「トマトいっぱいなるよ」と、自分たちで育てた野菜を収穫することから始め、枝豆は畑から抜いてきて莢を一つ一つ切りました。莢が何個できていたかも数えました。その数、153個！子どもたちも思わずびっくりしていました。

6月に収穫しておいた玉ねぎの皮むきでは、「たまねぎってかわむくにおいがする」などと気づいたことを友だち同士で話しながら作業をする姿や「うちでやったことあるよ」「たまねぎむくのなんかかんたん！」と、次々に仕事を見つけて手際よく準備をしてくれる姿もありました。

今年度は町保育研究会でお手伝いの取り組みを行っていることもあり、自分のできることを頑張る姿が多くみられるようになってきました。

早速、下準備した野菜を「きゅうしよくせんせい、おねがいします」と渡し、子ども達は「はやくたべたいな」とカレーの出来上がりを楽しみにしていました。



待ちに待った給食時間。「いいにー」「おいしいー」と歓声が上がりました。「これ、さつきかわむいた、たまねぎやー」「ピーまんがてやけど、たべてみる」など会話が弾み、最後は「おいしいー」とみんなが笑顔でした。

栽培や収穫を通して、自分たちで育てることの喜びを知り、食に対する興味関心が高まるとともに、感謝の気持ちでいただくことの大切さを学びあい、子ども自身が豊かな人間性を育み、生きる力につながることを願います。